

CLUB DAYORI



中島式4型 1919年(大正8年)

No.93

1988
Nov.

新会員の皆さんを御紹介いたします

どうぞよろしく申し上げます

★ フライイングスクール

5 4 6 0	野 上	晃 さん	前 橋 市	会社員	2 7 才
5 4 6 1	森 田	正 明 さん	相 模 原 市		6 0 才
5 4 6 2	湯野川	五 郎 さん	世 田 谷 区	会社員	6 2 才
5 4 6 3	柳 林	実 さん	船 橋 市	会社員	4 0 才
5 4 6 4	都 筑	和 子 さん	新 宿 区	学 生	2 0 才
5 4 6 5	野 本	英 司 さん	板 橋 区		2 2 才
5 4 6 6	佐 藤	浩 一 さん	東久留米市	会社員	2 3 才
5 4 6 7	泉	充 さん	館 林 市	公務員	3 9 才

★ フライイングクラブ

1 7 9 4	高 辻	育 史 さん	横 浜 市	公務員	3 0 才
1 7 9 5	榊 原	政 郎 さん	大 宮 市	会社役員	3 3 才

おめでとうございます

◎ ファーストソロ

八 木	満 さん	6 3 . 1 0 . 1 5	J A	3 9 1 4
峰 岸	康 志 さん	6 3 . 1 0 . 1 6	J A	4 0 0 4

次の方は、操縦練習許可証の期限が迫っております。早目に更新の準備をして下さい。

◎ 11月中に切れる人

雁部 裕さん	11/10	千葉 守さん	11/3
鈴木 忠一さん	11/9	八木 満さん	11/29
高山 満さん	11/16		

◎ 12月中に切れる人

斎藤 隆行さん	12/22	安田 雅司さん	12/22
坂本省吾さん	12/24	谷田 弘さん	12/8
高橋 利美さん	12/22	吉田 利男さん	12/6

▶ 申請に必要なもの

住民票	1	通
練習許可申請書	1	通
写真(インスタントは不可) 3.5 cm × 4.5 cm	2	枚
印鑑(シャチハタは不可)		
申請諸費用	2,000	円

◎ 身体検査の受診場所

宮入内科(有楽町交通会館)	03-211-4845
健康管理センター(浜松町貿易センタービル)	03-435-5702
国際空港診療所(羽田空港出発ロビー)	03-747-7755

【運航部よりスクールの皆さんへお願い】

個人で操縦練習許可書の申請を行っているスクールの方は、管制区内での操縦練習の許可申請で個人個人の練習許可番号及び有効期限が必要となりますので、是非お早目に本田航空、運航部あてに御連絡下さい。

クラブ・ニュース

★ 昭和63年度クラブ総会及び安全講習会が開催されました。

去る10月30日(日)本田航空(株)本社に於てクラブ総会及びクラブ安全講習会が開かれ、小人数の参加者ながら盛況のうち終了いたしました。

なお総会内容は次の通りでした。

ク ラ ブ 総 会 式 次 第

1. 開 会 の 辞
2. 会 長 挨 拶
3. 議 長 選 出
4. 会 計 報 告
5. 一 般 討 議
6. 閉 会 の 辞

以 上

安 全 講 習 会

講 師 本 田 航 空 (株) 運 航 部 副 長

山 口 徹 教 官

ク ラ ブ 会 計 報 告

(昭和62年8月～63年7月)

収入合計		2 4, 9 0 4
会費収入	4 5 5 名 (前年比3 4 名減)	1 3, 6 5 0
入会金収入	スクール 2 9 名 クラブ 1 5 名 (合計4 4 名)	2, 5 0 0
本田航空俸助成金		2 4, 9 0 4
支出合計		
書 籍	翼 4 2 4 (千円) 航空情報 2 4 3 (千円) A I M 3, 0 8 0 (千円)	3, 7 4 7
クラブ便り	6 回制作	4 0 6
通 信 費	郵便料ほか	1, 4 4 1
施設利用料	クラブルーム使用料 1, 3 0 2 (千円) 調布飛行場使用料 1, 4 2 3 (千円) 桶川飛行場使用料 6, 4 2 0 (千円)	9, 1 4 5
業務委託費	4, 0 0 0 (千) × 0. 3 5	1, 4 0 0
運行支援費	3 6 6 (千) × 1 2 カ月 × 0. 2	8 7 8
慶 弔 費	本田航空俸小川前社長慰労金 5 0 (千円) クラブ員 藤田和範氏御香典 3 0 (千円)	8 0
飛行料金クラブ補助金	4, 5 3 8 H (飛行原価－平均飛行料金) × 飛行時間	7, 8 0 7
収支合計		0

(単位：千円)

★ 忘年会のお知らせ

いよいよ本年最後のクラブ行事であります忘年会の季節がめぐって参りました。今回も山本副会長及び調布クラブ員の御協力により、都内に会場設定して頂くことが出来ました。又本年度忘年会には常日頃会員がお世話になっております教官も全員御出席頂けますので、特にスクールの皆様、是非とも御出席下さいます様、またライセンサーの皆様も万障お繰り合せの上、ぜひ御参加下さいます様お願い申し上げます。

日 時：昭和63年12月3日（土） 午後6時開宴

場 所：半蔵門会館

会 費：¥8,000—（御同伴者半額）

※同封のはがきにて出欠の御返事、お早目にお送り下さいます様、重ねてお願い申し上げます。

半蔵門会館御案内図

半蔵門会館

四ツ谷駅下車出口麴町口約徒歩15分
 有楽町線 麴町駅下車出口半蔵門方面徒歩7分
 半蔵門線 半蔵門駅下車出口1番、2番徒歩2分

四ツ谷「晴島埠頭」行 半蔵門麴町警察署前下車2分
 日比谷「新宿駅西口」行 三宅坂国立劇場前下車2分

皇居半蔵門前

半 蔵 門 会 館

東京都千代田区半町1番1号 電話 (265)7601(代表)
 警電 687-12(代表)

★ 本田航空（株） 年末年始営業御案内

会員の皆様には毎度御引立を頂き厚く御礼申し上げます。
本年も余すところ1ヵ月少々となって参りましたが、本田航空（株）では、
年末年始の営業を次の様予定いたしておりますので、なにとぞよろしく御協
力のほどお願い申し上げます。

年末：12月27日（火）まで営業

12月28日（水）～12月31日（土）まで全社休業

年始：1月1日元旦より営業いたします。

★ クラブ員 緑川安弘さんより

練習許可証用ケースを御寄付頂きました。

緑川さんが仲間の皆さんに練習許可証用ケースを自費制作し、わざわざお届け
くださいました。品物は受付 小森谷 又は 運行管理 でお預かりしていま
すので、スクールの方はどうぞ御利用下さいませ。又緑川さんには紙面をお
借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

クラブ・スクール・投稿コーナー

このコーナーではクラブ、及びスクール皆さんの御提案、経験談など情報交換の場として御利用頂ければと願っております。どうぞ皆さんふるって御投稿下さいます様お願い申し上げます。（又クラブに対する御希望などもお寄せ下さい。）

- 今月は岡山をベースにしたフライトの投稿が2つございましたので御紹介いたします。
- 前月号に引続き、板橋繁男さんより挿し絵を頂きましたので、又表紙に飾らせて頂きました。

岡山訓練所体験飛行報告

田崎吉和

先日仕事の関係で岡山まで出張をしまして、半日程時間が取れましたので岡南空港の本田航空岡山訓練所におじゃまをしました。その時のすばらしい体験をレポート致します。

9月13日15時 天気晴れ 東風 微風 視界10キロ 絶好の飛行日和である

「岡山 INFORMATION JA3934 VFR TO 高松」

「JA3934 岡山 INFORMATION RUNWAY 09

WIND 090 DEGREES 5 KNTS RUNWAY IS

CLEAR」

どこかで聞いたことのあるような、渋いボイスが狭いCOKPITに響く
そうです！ ここ岡南空港は管制官OBがボイスを行なっているのです。

ぐっと身の引き締まる思いが走り、セスナ172（JA3934）はエプロンからタクシーを開始する。この空港の誘導路は滑走路の西寄りのところにつながっているので、RUNWAY 09の場合は、わざわざ滑走路の西端まで行かなくても、その長さや機のパフォーマンス上、十分に離陸が出来るので、ローリングテイクオフをコールして、序々に速度を上げながら滑走路のセンターラインに機をアラインする。ふだんあまりローリングテイクオ

フはやらないので何とか機を滑走路のセンターラインに安定させて、すかさず「MAX POWER」!! 機はぐんぐん速度をあげて行く。ちらっちらっとして速度計を見ながら機をセンターライン上に維持させる。続いて「ローテーション」!! 次の瞬間滑走路が足元からスーッと遠ざかっていく。この瞬間が好きなんですわ !

正面左手に岡山市の町並みが広がって右手は児島湖の水面が光っている。ここからまっすぐ高松に向かうと10分程で着いてしまうので、ちょっと回り道をする事にする! そうです あの瀬戸大橋を見物する事にして左施回、機首を西方面にする。児島湖を後に正面に小高い山が迫って、その向こうに瀬戸内海がキラキラ光っている。やがて海上に直線的に延びる瀬戸大橋が目に入ってくる。さすがにでっかい建造物ですね——!! まず見落とす事はないでしょう!! 橋の西側に出て、高度を下げながら大橋に接近!! そして橋の直上で360度施回、施回中に大橋をみると本州から四国につながる橋の全形を見ることが出来ます。

大橋の中央付近から機首を東に向け、高松タワーとコンタクト!! 「JA3934 REPORT 香西」聞いたような声!! 同期のN氏である。高松空港で2度ほどタッチアンドゴーをして着陸、管制塔でN氏と久々の再会!! あまり昔と変わらないがお腹が少々・いやっ だいぶ出てきたようである。私はほとんど変わらないとの評であるが、実は最近10キロ減量したのです。これ秘密!!

さて、高松空港に駐機中のYS11を横目に見ながら管制塔に手を振ってタクシーアウト、無線交信の内容から定期便のYS機が接近中のものである。ちょっと気をつかって若干速度を上げて滑走路に向かい待たされる事無く離陸、滑走路末端で翼端を振って上昇次いで左施回、ダウンウィンドに向かう。ファイナルを見るとYS機が着陸進入しているのが確認でき良いタイミングだったな——!! 香西の上空で管制塔のN氏に別れを告げ、まっすぐ次の目的地である新岡山空港に向かう。

瀬戸内海を横断している時、ふと左側を見ると夕日が赤く海面を染め、そのなかに瀬戸大橋と島々がシルエットになって浮かび上がって見えている。

何か幻想の世界のよう! 飛んで良かったなーと自己満足の時である。

眼下に児島湖が迫って来ると1時間程前に離陸した岡南空港が見える。そして正面はるか遠くには山を削って作られた新岡山空港の赤茶けた山肌が見

えて来る。カンパニー無線で定時連絡をして岡山タワーにコンタクト、他に航空機は飛んでいないらしく直接ベースに向かう指示があり機首を若干左に取る。この空港はフィールドレベルが800フィートあるのでパターンの高度は千六百フィートになる。まるで巡航高度並みである。着陸灯をつけると着陸許可がでた。ベースからファイナルに慎重に機をコントロールする。ちょっと下を見ると凹凸地表の山谷が目に入る。風が強かったら揺れそー!!
なんて思いが脳裏をかすめ、いよいよ正面に2,000メートルの滑走路が迫って来る!! なにしろこんなに長い滑走路にはめったに着陸する事はないのでちょっと勝手が違う感じである。進入角指示灯を赤白に維持しながらなんとか着陸、ちょっとハードだったかな?! 滑走路の見え方が違うので高起こしだったなー!! と反省、タッチアンドゴーで2度ほど試みましたが自分としては満足出来る着陸ではありませんでした!! 何事不断的の努力が大切ですね。

西側の新しいエプロンにスポットイン、機外に出て深呼吸!! 南の方を見ると、眼下に遙か遠く岡山市が夕日に霞む山並みの間から見えている。ここは高地なんだな——!! と考えも新たに、帰りの準備をしなくっちゃ!!

最後に岡南空港、高松空港、新岡山空港そしてA教官をはじめ本田航空岡山訓練所の皆様にはお手数をおかけしまして、ありがとうございました。

今後も慣れないパイロットには愛の手をよろしくお願い致します!!。

鹿 児 島 から 岡 山 へ

K . A

スケジュールの都合で、午後早々と鹿児島空港から離陸しなければならない。すでにカットラスはダイレクトで本田エアポートに針路を取っているはずである。前席右側に席を占めた一人はグランドに呼びかける機会をうかがっている。さすがに定期便の多い空港ともなると、管制官の多忙ぶりが手にとるようになる。少々早口ではあるが明瞭な発音である為、安心して聞きとることができるようだ。僚友機はすでに離陸している。タワーに切りかえてしばらく時間が過ぎたものの、教機のラインが進入しているらしくホールドポジションのままである。このあたりで確かめて見るのも良いとばかり準備完了の旨送信す

ることにした。当然スタンバイの指示が返ってくる。管制官が我々を見ずては
はずがない。離陸の許可と共に、どのような針路を取るのか聞いてきた。さっ
そくレットターンして桜島経由で岡南空港が目的地であることを通告した。し
ばらく後五マイル地点でレポートをやらねばと思っている時、その要求あり先
手をうたれた感じである。加治木であることを高度をレポートして、桜島一周
の予定行動に移ったが噴煙の臭いにお互い顔を見合せ、さっさととはなれるこ
とになった。ここぞとばかりアプローチにコンタクト、桜島アビームと我々の進
路を伝えた。

高千穂峰で高度をレポートしたところ、これでレーダーサービスは終了した旨
伝えてきた。我々は丁重にお礼の言葉を述べたのに対しユーアーウェルカムの
言葉を後に、九州の山脈の上をフライトすることになったのである。後席の解
説者によると、左手に見えている山々は、観音様の寝姿を横から見ているよう
であるといい、そのすぐ脇の山頂は若い裸体の胸であるという。話を聞けばそ
の様である。あわててシャッターを押したが、そのできばえはどんなものだろ
う。一昨日訪ねた大原美術館のゴッホの絵をふと思いうかべたのである。
延岡をチェックして、鶴御崎を最後に、四国を横断するコースに入った。こゝ
で僚友機と平行して飛行する事になったものの、相手の機体がまさに波乗りを
楽しんでいるかの様だ。どうも近よりがたいので、何とかできないものかと問
い込んだりした。早くも瀬戸大橋が見えてきた。目的地も近い。安全運航の
一条件である晴天にめぐまれた事、気のおけない友人に出合えた事、訓練部教
官の御支援に深く感謝を申しあげつつ、オンファイナルを向えることができた
のであった。

◇◇◇ 学 科 講 習 ◇◇◇

高：高田馬場（第1アートビル5F）Aコース
 桶：桶 川（2F教室）B・Cコース

12月				1月			
日付	科目	コース	教室	日付	科目	コース	教室
6 (火)	航空通信-2	C	桶	9 (月)	航空法規-1	A	高
8 (木)	航空工学-2	C	桶	10 (火)	運航一般-2	C	桶
15 (木)	航 法-3	C	桶	12 (木)	航空法規-3	C	桶
20 (火)	計器飛行-2	C	桶	17 (火)	航空気象-3	C	桶
22 (木)	空中操作-2	C	桶	19 (木)	航空通信-3	C	桶
				20 (金)	航空気象-1	A	高
				23 (月)	航空通信-1	A	高
				24 (火)	航空工学-3	C	桶
				26 (木)	航 法-4	C	桶
				27 (金)	航空工学-1	A	高
				30 (月)	航 法-1	A	高

〔 学 科 講 習 内 容 〕

ホンダ・フライング・スクール

自家用操縦士課程（40回120時間）

科 目	内 容	受付受講印
航空法規(1) (2) (3) (4)	航空法令の分類 定義 登録 航空機の安全性 航空従事者 航空路 飛行場 航空保安施設 航空機の運航(1) 航空機の運航(2) 罰則	
航空気象(1) (2) (3) (4)	大気 気温 気圧 安定 雲 霧 視程 風と台風 低気圧 高気圧 気団 前線と雷雨 天気図 着氷 航空気象通報式	
航空通信(1) (2) (3) (4)	通信組織 航空交通業務 航空交通管制業務 航空情報 A I P NOTAM AE I S 管制用語 局地交話法 RADIO TOWER との 交信要領 機上電源	
航空工学(1) (2) (3) (4)	飛行機の構造 航空力学 航空計器 動力装置(1) 動力装置(2) プロペラ 飛行機の装備系統 重量重心 耐空性 飛行規程	
航 法(1) (2) (3) (4) (5) (6)	航法の概要 航空図 用語の定義 航法計器 航法計算盤の使い方 風力三角形 航法計画の作成 基本航法の計画と実施要領 航空保安施設の利用法 (A D F V O R トラン スポンダー) 野外飛行の計画と実施要領 緊急時の手順	

科 目	内 容	受付受講印
計器飛行(1) (2) (3) (4)	計器飛行の歴史 計器の見方 G/H D/G 旋回計等) 基本計器飛行 A D F (指示器の見方 LOP ホーミング インターセプト アプローチ) V O R (指示器の見方 ラジアル LOP インターセプト) 計器飛行方式による飛行の方法 (I F R)	
空中操作(1) (2) (3)	地上点検 離陸 レベルオフ 旋回 上昇降下 異常姿勢からの回復 スローフライト ストール 基本着陸 地上目標による720°旋回(パイロン) 緊急操作(エンジン系統、機体等の故障、着水) 短距離離陸 ノーフラップ着陸 失速着陸 短距離着陸 180°スポット着陸 シャンデル レイジー8	
運搬一般(1) (2) (3)	飛行の準備 機長の出発前の確認事項 航空機の整備状況の確認 重量重心の確認 航空情報の確認 気象情報の確認 燃料滑油の確認 積載物の安全性 飛行計画 航空衛生 救急法 一般知識	
特殊無線(1) (2) (3) (4) (5) (6)	電波法(1) 総則 無線局の免許 無線設備 無線従事者 電波法(2) 運用 監督 業務書類 通信術 無線工学(1) 予備知識 無線電話の基礎 無線工学(2) 無線電話の基礎 無線電話の設備 無線工学(3) 無線電話の設備 無線工学(4) 無線電話設備 ファクシミリ A T Cトランスポンダー テレメータ 通信術	

***** 学 科 講 習 携 行 品 *****

航 空 法 規	—	航空法、A I M
航 空 気 象	—	航空気象入門、A I M
航 空 通 信	—	コピー配布します
航 空 工 学	—	航空工学入門
航	—	(1)基礎航法教室
		(2)基礎航法教室
		航法計算盤
		航法計算盤の使い方
		(3)(4)航法計算書のつくり方
		航法計算盤
		プロッター
		1 / 50 万区分航空図
		航法計画書
		(5)操縦訓練マニュアル
		(6)航法計算盤
		プロッター
		区分航空図 8501
計 器 飛 行	—	操縦訓練マニュアル、A I M
空 中 操 作	—	コピー配布、操縦訓練マニュアル
運 航 一 般	—	コピー配布、A I M
特 殊 無 線	—	電波法規、無線工学

